



せい しん つう しん
聖 心 通 信

札幌聖心女子学院

校長 齊藤 隆浩

第6号 2023年8月31日

〒064-8540 札幌市中央区宮の森2条16丁目10番1号
 URL <https://spr-sacred-heart.ed.jp>

TEL 011-611-9231 / 011-676-7667(職員室直通)
 FAX 011-612-0980

充実した夏休みを過ごすことができましたか。前期期末考査が近づいてきています。まだまだ暑い日もありますので、引き続き感染予防を意識しつつ、熱中症にも十分に注意していきましょう。



9月の予定

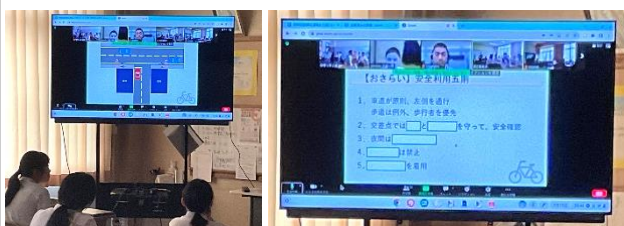


		行事	弁当
1	金	北海道シェイクアウト 高2保護者会(14:00~15:00) 母の会 中古制服販売	要
2	土	SP11 父の会聖書サークル(Sr.田口 16:00~)	※
3	日		
4	月		要
5	火	全校朝礼 母の会聖書サークル(Sr.新庄 10:30~)	要
6	水	梅干し弁当④ 部・委員会卒業アルバム写真撮影(放課後)	要
7	木		要
8	金		要
9	土		
10	日		
11	月	前期期末考査 中高① 職員会議	※
12	火	前期期末考査 中高②	※
13	水	前期期末考査 中高③	※
14	木	前期期末考査 中高④ 帰省日	※
15	金	生徒秋休み(~19日)	
16	土		
17	日		
18	月	敬老の日	
19	火	帰省日 母の会聖書サークル(Sr.田口 10:30~)	
20	水	考査返却①(特別時間割)	※
21	木	考査返却②(特別時間割) 夏季研修報告会, Sr.G・ホッフル講演会	※
22	金	個人票手渡し	要
23	土	秋分の日	
24	日		
25	月		要
26	火	全校朝礼	要
27	水	成績会議(15:40~)	要
28	木	後期姉妹会委員会決定(LHR) ピア・サポート⑤(16:20~)	要
29	金	通知表生徒手渡し	要
30	土	SP12	※

☆ ※の日は、必要な方は昼食をご用意ください。
 ☆ 行事予定は暫定のもので、大きな変更がある場合には、一斉メールや学校ホームページ等でお知らせいたします。

自転車ルール・マナー講座

7月19日の7校時、NPO法人ポロクルの前鼻一輝様と札幌市市民文化局地域振興部区政課交通安全担当課長の大口 純一様による自転車ルール・マナー講座がオンラインで実施されました。



姉妹校合同

SOFIS ワークショップ

7月31日~8月2日まで、兵庫県の小林聖心女子学院主催で行われた、姉妹校の生徒が集う SOFIS ワークショップに、本校から高2・高3の3名が参加しました。今年度のテーマは「多文化共生」でした。

1日目は甲南大学の野崎教授の講話を聞いた後、各校が事前に準備した学習発表会と学校紹介。2日目は小林聖心の校舎見学とテーマに関連する様々な施設を訪問。3日目は神父様によるまとめの講話をお聞きした後、記念撮影をして解散となりました。

色々な施設を訪問し、お話を聞きことができ、多文化共生について理解が深まると同時に姉妹校の絆も深めることができた有意義な3日間となりました。



タイ体験学習

高2・高3の17名が7月22日～29日まで、7泊8日の日程でタイ体験学習に参加しました。タイのマナー講座に始まり、現地の大学で日本語を教えていらした聖心女子大学の卒業生からのお話(写真①)、現地高校生との交流(②③)、世界遺産のアユタヤ遺跡の見学(④)、プラティーブ財団訪問(⑤⑥※⑥は梅干し弁当募金のお礼にいただきました。学習ホールに展示。)、マングローブの植樹(⑦)など、非常に内容の濃い研修となりました。詳細は下の「今月のこころのことば」および、本校ホームページをご覧ください。



今月のこころのことば

「自分のこもっていた殻から出ていくことの
大切さをこの研修で学びました。」

タイ体験学習参加者のふりかえりより

4年ぶりに実施された今年のタイ体験学習では、毎朝の祈りで始まり、毎夕の振り返りと分かち合い、祈りで終わる日々で17名の参加者一人ひとりが、大きく成長したことを実感しました。

バンコク最大のクロントイスラムで教育と生活改善のために一生を捧げるプラティーブ財団創始者プラティーブさんを訪ね、保育園やスラムを見学し、今までの活動と給食をはじめとする、コロナ禍の間のスラムの住民の方々への支援活動について伺いました。火災がほうぼうで起こり、火を消し止めるのも大変だったようです。

プラティーブさんのお仲間には、日本からのボランティアの方々もおられます。30年間、タイでボランティア活動に取り組まれる北海道出身の中川紀子先生の「コロナ禍の支援活動は、毎日目の回る思いだったけれど、皆が一致協力して楽しかった。」というお言葉が、生徒たちの心に深く残りました。

大変なことに一致協力して取り組むことで、人は仲間になっていくことを教えられました。そして、ある生徒の振り返りを聞いて、人はこもっていた自分の殻から一歩出るときにお互いに仲間になるのだと気づき、祈りが生まれました。

これから先、どんな苦労があっても、仲間の輪が広がる楽しさを味わいながら取り組んでいけますように。

[チャプレン Sr.田口保子]